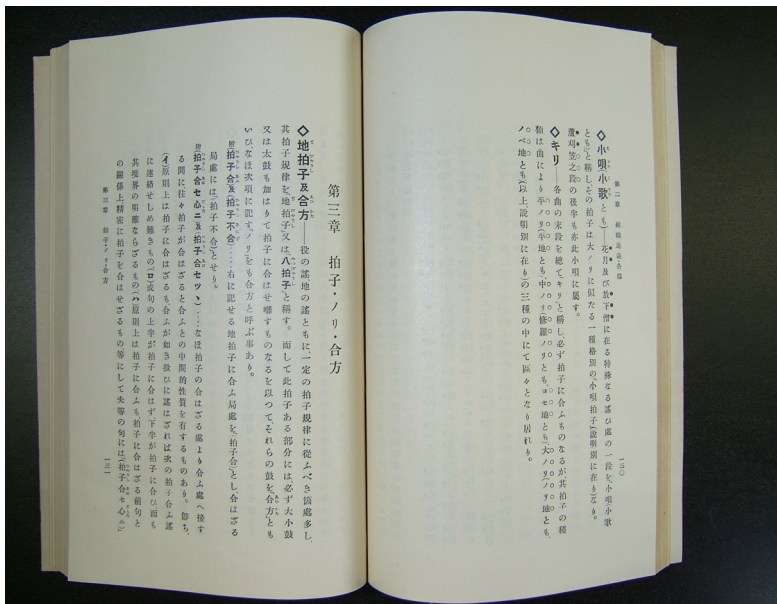


丸岡桂 『復興版別冊 観世流改訂謡本解説』

明治四〇年、丸岡桂によって謡本の改訂が行われた理由および訂正方針を、大正一五年の段階で振り返りつつ、新しく述べる。全体は、「順位・演式・曲別」「組織・進退・各部」「拍子・ノリ・合方」「節附・記入」の四章からなる。拍子については二十頁強。写真下はその冒頭頁である。用語をそれぞれ厳密に、場合分けしつつ定義する。拍子だけではなく、謡の全体を合理的に理解しようとする分類の喜び、または、そのような合理性に反発する反応、どちらの反応も、手にとるように想像できそうな本である。



標題 内題：—

標題紙：復興版別冊 観世流改訂謡本解説

説

奥附：—

その他：復興版別冊 観世流改訂謡本解説

説（表紙）、復興版別冊 観世流

改訂謡本解説 本篇（巻末）

著者 奥附：丸岡桂（訂正）

その他の場所：—

出版 版次：第一版

出版地：東京

出版社：観世流改訂謡本刊行会

出版年：大正15（1926）

その他の場所：—

形態 冊数：一冊十函 頁数：二二四頁十

七三頁（付録）

寸法：22×15（cm）

状態 写本版本の別：版本 現物複写の別：現物

備考 土居源太郎発行（奥附）。